

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-248	高等学校	外国語	コミュニケーション 英語Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	コⅡ 330	New Discovery English Communication Ⅱ		

1. 編修の基本方針

(1) 学習活動からコミュニケーション活動へスムーズに移行する。

教材の構成は基本的には文法シラバスとしているが、四つの領域の言語活動を有機的に関連づけて総合的に育成することが求められていることに対応して、文法にからめる場面と機能表現とを効果的に配置し、教材としての適切性に配慮して、生徒に身近で知的発見のある題材、取り組みやすい言語活動を数多く配置して、生徒の意欲的な発話につなげることを重視した。各活動はコミュニケーションの必然性や妥当性を考慮し、コミュニケーション英語Ⅰで培った基礎的なコミュニケーション能力をさらに伸ばすことができるよう配慮した。また、言語の使用場面に特化した言語活動を行うための独立したページを5箇所にした。

(2) 「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習事項をくり返し学習し、コミュニケーション能力を伸ばす工夫。

「コミュニケーション英語Ⅰ」で学んだ学習事項をくり返し学習しその定着を確実に図りながら、英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を無理なく伸ばすことができるよう特段の意を用いた。具体的には、Lesson 1-1, Lesson 2-1, Lesson 2-3, Lesson 3-2, Lesson 3-3, Lesson 4-1, Lesson 4-4で「コミュニケーション英語Ⅰ」で学習した文法事項・文構造を扱い、これらの上に、英語を通じたコミュニケーションを支える4技能を伸ばすことができるよう配慮した。また、生徒の学習負担を考慮しつつ、高等学校段階にふさわしい自然な語彙・表現と構文を用いるよう留意した。

(3) 生徒の興味と関心を高め、学習意欲を喚起する題材。

異文化相互理解、日常生活、言語、平和、芸術、自然、人権、スポーツなど幅広いジャンルから題材を精選した。本文は生徒が知的な興味をもって楽しく英語の学習が進められるよう発見や意外性のある内容のものを柱に選定し、語学学習だけにとどまらず、教科横断的な学習ができるよう特段の配慮をした。

2. 対照表

本教科書は教育基本法、学校教育法の精神に則って編修したが、以下に特に教育基本法第2条（教育の目標）に典型的に対応する部分を示す。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ番号)
題材の配列・構成	「真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」については、教科書の全題材を通して教科の目標に迫ることで達成できるととらえている。「幅広い知識と教養を身につけ」は、各題材の選定と扱いに活かしている（第1号）。	全課
教科書全体の活動	全課の課末において、ペア活動やグループ活動を通して互いに学び合い、高め合う活動が行えるように配慮した。また、グループやペアでの議論の題材を設定するなどにより、お互いの意見の異同を確認し、尊重する態度を養うことによって、個人・集団としての正義と責任、自他の敬愛と協力の精神が養成されるようにした（第3号）。	全課
Lesson 1 Hot Springs and Baths in the World	世界の入浴文化の違いや歴史に関する題材を読み、幅広い知識や教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した（第1号）。また、日本と他国との入浴文化の比較を通じて、わが国の文化や郷土の良さを見直し、異文化相互理解ができるよう配慮した（第5号）。	pp.5-14
Lesson 2 Simple Spelling Systems?	英語のつづり字と発音との複雑な関係に関する高校生の対話を読み、相異なる言語体系の相互比較を通じて、言語に対する幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した（第1号）。	pp.15-24
Lesson 3 Living Dinosaurs?	海に生息する未知の生物や、現代における恐竜の存在可能性を示唆する高校生の発表を読み、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度の涵養を目指した（第1号）。同時に、生命や自然を尊び、環境保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。	pp.27-36
Lesson 4 African-American First Lady	前アメリカ大統領夫人ミシェル・オバマの半生を読み、人種差別等の困難を克服した経緯や、その行動を支えた考え方を学ぶことで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した（第3号）。また、それらを通じて国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。	pp.37-48
Reading 1 Chosen	太平洋戦争中の日本兵と米兵捕虜の互いの立場を超えた心の交流を描いた物語を読み、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の発展に寄与する態度を養うことを目指した（第3号）。また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う礎となるよう配慮した（第5号）。	pp.50-55
Lesson 5 Broaden Your Horizons	東西冷戦時代のソ連とアメリカの間で行われたホームステイ・プログラムについて書かれた題材を読み、異文化相互理解の重要性を理解すると同時に、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した（第5号）。また、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことで、自主及び自立の精神を養うことができるよう配慮した（第2号）。	pp.57-68

<p>Lesson 6 The Great Sorrow of Guernica</p>	<p>名画「ゲルニカ」が描かれた社会的背景とそこに込められたパブロ・ピカソの思いを学び、真理を求める態度や豊かな情操、道徳心を養うことを目指した（第1号）。また、平和の尊さを学び、国際社会の平和と発展に寄与する態度を涵養できるよう配慮した（第5号）。</p>	<p>pp.69-80</p>
<p>Lesson 7 Without the Right Brain</p>	<p>幼少時に右脳切除の手術を受け幾多の困難に直面しつつも、それらを乗り越え優秀な成績で高校を卒業、芸術家としても活動するようになる少女の実話を読み、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培えるよう配慮した（第2号）。また、豊かな情操と道徳心を養うことを目指した（第1号）。</p>	<p>pp.83-94</p>
<p>Lesson 8 An Industrial Revolution in the Sky</p>	<p>私たちの日常生活に深く関わりつつあるドローンについて書かれた題材を読み、災害救助や農業等における活用事例やその他の応用への可能性、またドローンがもたらす日常生活における功罪を学ぶことで、職業及び生活との関連を重視した（第2号）。</p>	<p>pp.95-106</p>
<p>Lesson 9 Benefits of Laughter</p>	<p>ホスピタルクラウンや「なでしこジャパン」の佐々木監督の例を通じ、科学的な根拠を引きながら「笑い」が人間一般にもたらす様々な効用について学び、生活との関連のなかで個人の価値を尊重し、創造性を培うことを目指した（第2号）。同時に、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した（第1号）。</p>	<p>pp.109-120</p>
<p>Lesson 10 Living with Microbes</p>	<p>一般に負のイメージを抱きがちな「菌」が、様々な形を通じて日常生活へ著しく寄与している実態を学ぶことを通じて、生活との関連の中で個人の価値を尊ぶことを他者の尊重へと架橋することを目指した（第2号）。また、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるように配慮した（第4号）。</p>	<p>pp.121-132</p>
<p>Reading 2 The Victory of Belief</p>	<p>高校ラグビー部の「熱血」指導を通じて、生徒たちと真正面から向き合った山口良治氏の実話を読み、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画し、それらの発展に寄与する態度を養うことを目指した（第3号）。また、個人の価値を尊重すると同時に自主自立の精神を養い、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを重視した（第2号）。</p>	<p>pp.136-143</p>
<p>Action! 1~5</p>	<p>「空港」「ホテル」「レストラン」など、特定の場面でなされる対話を通して、円滑にコミュニケーションを図るための豊かな情操と道徳心を培うことを目指した（第1号）。</p>	<p>p.25, 49, 81, 107, 134-135</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 学習への動機づけの工夫

生徒の学習意欲を喚起するため、各課の扉ページには題材内容を象徴的に表した図版を大きく用いて、生徒の題材に関する興味・関心を喚起できるよう特段の工夫をした。また、図版の下には、「Get Ready」のコーナーを設け、題材に関する背景的な知識を活性化させることを通じて、各課の題材への導入をより容易に行うことができるように意を注いだ。各セクションの冒頭には、例えば、「外国人は日本の温泉のどのような点に驚くでしょうか。」(Lesson 1-1) のような投げかけを Pre-Reading Activity として配置し、題材内容への興味・動機づけを図った。

(2) 内容を深く理解し、表現力を伸ばすための工夫

各セクションには Check It! のコーナーを設け、本文の内容や要点の理解を確認する設問を配した。A では本文のポイントとなる内容を問う英問英答問題によって、本文内容についての理解度を確認するとともに、英語で答えることにより英語による表現力を涵養できる工夫をした。また、B では本文の内容について、英語の音声を聞いて答える正誤問題によって、本文の内容理解をさらに確実なものにし、「聞く」活動を通して情報を的確に理解する能力を養うことができる工夫をした。通常課の終了後には、語形成の基本的な規則を学習するページ (Enrich Your Vocabulary) を配し、通常課で学習した新出語の派生語や同意語、反意語を連続的に学習することで、通常課との有機的なつながりのもと、コミュニケーションを支え、自己表現力を豊かにする語彙力が体系的に養えるよう特段の意を配した。

(3) 英文の構造を体系的に理解するための工夫

関連する文法事項・文構造をできるかぎり同一課内にまとめて配置することによって、教師が関連項目を体系的かつ効率的に教授できるとともに、学習者が英文の構造を体系的に理解し、無理なく新出文法事項・文構造を学ぶことができるよう配慮した。また、本文ページの Study Grammar! で学んだ文法事項・文構造を課末の Grammar Point と Grammar Practice でくり返し扱うことにより、コミュニケーションを支えるための基礎的な文法事項・文構造を学習者が確実に身につけることができるように特段の意を用いた。また、各セクションには、学習者が Study Grammar! で学んだ文法事項・文構造を効果的な言語活動を通して使うことができるように Express It! を配置し、自己表現へつながる工夫をした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-248	高等学校	外国語	コミュニケーション 英語Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	コII 330	New Discovery English Communication II		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす」という学習指導要領「コミュニケーション英語Ⅱ」の目標を4単位の授業時数で実現するために、特に以下のような点を工夫して編修し、特色とした。

(1) 編修上特に意を用いた点

- ア. 「コミュニケーション英語Ⅰ」で培ったコミュニケーションの基礎的な能力を踏まえ、四つの領域の言語活動を有機的に関連づけ、4技能を統合的に育成しコミュニケーション能力を伸ばすことを編修上の最大の基本方針とした。
- イ. 外国の生活や文化について理解を深め尊重する態度を育成するとともに我が国の伝統文化を見直し、これを外国に発信していくための技能の育成にいつそう資するとともに、豊かな心を育み、国際社会に生きる地球市民を育成するための題材を豊富に取り上げた。
- ウ. 言語の使用場面は、「コミュニケーション英語Ⅱ」の目的を達成するのにふさわしいものを適宜取り上げ、4技能を有機的に組み合わせて活用できるように独自のページ (Action! 1~5) を5箇所配した。また、言語活動を設定する際には、ペアワークやグループワークなどを通じて場面特有の表現に習熟し、コミュニケーション能力が効果的に養えるよう工夫を凝らした。
- エ. 英語の音声的な特徴を解説するページ (英語のリズムを作る「強勢」と「発音」、音の変化と聞き取りのコツ) を2箇所配し、コミュニケーション英語Ⅰで学習した内容を踏まえ、英語のリズムや強勢、英語特有の音声変化に対する理解を深めることで、「話す」活動を効果的に行い、英語らしい発音を習得するための練習ができるよう工夫を凝らした。
- オ. 読み方の技術を具体例を通じて平易に解説するページ (説明文の構成、スキミング、未知語の推測) を3箇所に配し、コミュニケーション英語Ⅰで培った基礎的な技術を踏まえ、生徒が「読む」活動を効果的に行い、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえる能力を伸ばせるように意を配した。
- カ. 語形成の基本的な規則を学習するページ (Enrich Your Vocabulary) を通常課の終了後に配し、通常課で学習した新出語の派生語や同意語、反意語を連続的に学習することで、通常課との有機的なつながりのもと、コミュニケーションを支え、自己表現力を豊かにする語彙力が体系的に養えるよう特段の意を配した。
- キ. 学習者には学ぶ過程が、指導者には教える手順が見て取れるよう、わかりやすい見開きの紙面構成、レイアウトとした。

(2) 特色 (全体構成と各課の構成など)

「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす」ために、四つの領域の言語活動を有機的に関連づけつつ総合的にコミュニケーション能力を伸ばせるよう以下のような構成とした。

- ア. **Get Ready** : 題材内容についての興味・関心を喚起するための英語による導入問題。英語で投げかけを行い、題材に関する背景的知識を活性化させることで、題材内容への導入をより容易に行うことができるよう工夫した。学習内容への関心や意欲を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することを目的としている。
- イ. **本文** : 目標とする事項を含んだ本文を読んで、その理解および定着を図る。生徒への学習負担に配慮し、各セクションの総語数を原則として110~140語程度に設定し、「コミュニケーション英語Ⅰ」から段階的に分量を増やした。また、生徒が「コミュニケーション英語Ⅰ」までに学習してきた1,485語の上に、新たに670語の新語を加え、本文全体を構成した。とりわけ「コミュニケーション英語Ⅰ」で学習した言語材料を再び取り上げ、「コミュニケーション英語Ⅰ」で学んだ事項をくり返し学習することで、それらの確実な定着を図れるように特段の意を用いた。また脚注には、代名詞や語句の具体的内容を問う設問を配して、本文で読み取った内容の概要や要点を生徒がより確実に理解できるように工夫を凝らした。

- ウ. **Check It!** : 本文の内容・要点の理解を確認する設問。Aでは本文のポイントとなる内容を問う英問英答問題によって、本文内容についての理解度を確認すると同時に、英語で答えることにより英語による表現力を涵養できるよう工夫した。また、Bでは本文の内容について、英語の音声聞いて答える正誤問題によって、本文の内容理解をさらに確実なものにし、情報を的確に理解する活動を通じて「聞くこと」に関する能力を養うことができるよう工夫した。これらの作業を通じて教室で英語によるQ&Aが活発に行われ、生徒が英語に触れ、使用する機会が多くなるようにした。
- エ. **Study Grammar!** : 本文で学ぶ目標とする文法事項・文構造について、簡潔な説明とともにわかりやすい例文を提示し、学習内容を整理し、定着を図れるよう配慮した。
- オ. **Drill : Study Grammar!** で学習した目標とする文法事項・文構造の確認問題。平易な問題により、生徒が確実に言語材料の確認・定着を図れるよう、平易な問題を配した。
- カ. **Express It!** : 各セクションで学習した目標とする文法事項・文構造を活用しながら行う自己表現力を養うための活動。「話す」活動を活発に行うことを通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できるよう工夫を凝らした。
- キ. **Grammar Point : Study Grammar!** で学習した目標とする文法事項・文構造のまとめと補充を行うページ。図解を多く用いて関連する事項を体系的に提示することで、学習者が効果的に学習できるよう配慮した。
- ク. **Grammar Practice : Study Grammar!** で学習した目標とする文法事項・文構造を確認・定着させるための練習問題。各課で学んだ事項をくり返し復習することにより、学習事項のいっそうの定着を図り、確実にコミュニケーション能力を養えるよう工夫を凝らした。
- ケ. **Vocabulary Check** : 本文ページの脚注で扱った熟語や重要表現の確認問題。本文ページで学習した熟語や表現の定着を図ることで、表現力をいっそう伸ばし、「書く」活動につなげることができるように意を配した。
- コ. **Sum Up!** : 英語を「読む」ことを通じて、本文で読んだ内容の概要や要点をとらえ、要約文を完成させるための活動を設けた。
- サ. **Work Together!** : 本文内容と関連したテーマ・話題をもとに行う統合的なコミュニケーション活動。Aでは生徒どうしが英語で話し合ったり意見の交換をしたりする「話す」「聞く」活動を通して題材のテーマについて理解を深める活動、Bではそれにもとづいて情報や意見を「書き」、それを「話す」活動（発表）を多く取り入れた。

上記のように、学習指導要領外国語科（コミュニケーション英語Ⅱ）の目標と内容が十分達成できるような構成・内容になるよう特段の工夫をした。

2. 対照表

コミュニケーション英語Ⅱの標準単位数は4単位（年間140時間）であることから、本教科書は週4時間の授業時数を想定して編修した。なお、学校行事などのため年間140時間の8割程度が実質可能授業時数であると想定し、120時間程度で本教科書の学習が終えられるよう、全体の分量に配慮した。

以下、具体的に学習指導要領との対照及び配当時数の詳細を示す。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
英語の句読法	-	③	-
Lesson 1	第2款:第3-2(1)アイウエ, (2)アエ, 第3-3(1), (2) / 第3款:1働きcd, 2イウ(カ), 3アイウ, 4 / 第4款: 2(1)イウエ, (2), (4)	5-14	8
Lesson 2	第2款:第3-2(1)アイウエ, (2)アエ, 第3-3(1), (2) / 第3款:1場面b働きabce, 2ウ(キ), 3アイウ, 4 / 第4款: 2(1)イエ, (2), (4)	15-24	8
Action! 1	第2款:第3-2(1)イ / 第3款:1場面a働きabce, 3ア / 第4款:2(2)	25	1
説明文の構成	第2款:第3-2(1)イ, (2)イ / 第3款: 1働きc	26	1
Lesson 3	第2款:第3-2(1)アイエ, (2)アエ, 第3-3(1), (2) / 第3款:1場面c働きbcd, 2ウ(カ)(キ), 3アイウ, 4 / 第4款:2(1)エ, (2), (4)	27-36	8
Lesson 4	第2款:第3-2(1)アイウエ, (2)アイエ, 第3-3(1), (2) / 第3款: 1働きd, 2イウ(カ)(キ), 3アイウ, 4 / 第4款: 2(1)アイウエ, (2), (4)	37-48	10
Action! 2	第2款:第3-2(1)イ / 第3款:1場面ac働きabcd, 3ア / 第4款:2(2)	49	1

Reading 1	第2款:第3-2(1)アイエ, (2)ウエ, 第3-3(1)／第3款:1働きe, 3ア／第4款:2(1)アイウエ, (2)	50-55	5
英語のリズムを作る「強勢」と「弱音」	第2款:第3-2(2)ア／第3款:1働きd／第4款:2(4)	56	1
Lesson 5	第2款:第3-2(1)アイウエ, (2)アエ, 第3-3(1)／第3款:1場面b働きcde, 2イウ(ア)エ, 3アイウ, 4／第4款:2(1)アイウエ, (2), (4)	57-68	10
Lesson 6	第2款:第3-2(1)アイエ, (2)アエ, 第3-3(1)／第3款:1働きcd, 2ウ(イ)ウ(カ), 3アイウ, 4／第4款:2(1)イエ, (2), (4)	69-80	10
Action! 3	第2款:第3-2(1)イ, (2)ア／第3款:1場面c働きbcde, 3ア／第4款:2(2)	81	1
スキヤニングの方法	第2款:第3-2(1)イ, (2)イ	82	1
Lesson 7	第2款:第3-2(1)アイウエ, (2)アイエ, 第3-3(1)／第3款:1働きcd, 2ウ(イ)ウ(カ), 3アイウ, 4／第4款:2(1)アエ, (2), (4)	83-94	10
Lesson 8	第2款:第3-2(1)アイウエ, (2)アエ, 第3-3(1)／第3款:1働きcd, 2ウ(カ), 3アイウ, 4／第4款:2(1)アエ, (2), (4)	95-106	10
Action! 4	第2款:第3-2(1)イ／第3款:1場面a働きabde, 3ア／第4款:2(2)	107	1
音の変化と聞き取りのコツ	第2款:第3-2(2)ア／第3款:1働きe／第4款:2(2)／(4)	108	1
Lesson 9	第2款:第3-2(1)アイウエ, (2)アイエ, 第3-3(1)／第3款:1場面b働きabcde, 2イウ(イ)キ, 3アイウ, 4／第4款:2(1)アエ, (2), (4)	109-120	10
Lesson 10	第2款:第3-2(1)アイウエ, (2)アイエ, 第3-3(1)／第3款:1働きcd, 2ウ(ウ), 3アイウ, 4／第4款:2(1)アエ, (2), (4)	121-132	10
未知語の推測	第2款:第3-2(1)イ, (2)ウ／第3款:1働きab	133	1
Action! 5	第2款:第3-2(1)イ, (2)エ／第3款:1場面ac働きabcde, 3ア／第4款:2(2)	134	2
Reading 2	第2款:第3-2(1)アイエ, (2)ウエ, 第3-3(1)／第3款:1場面b働きabe, 3ア／第4款:2(1)アエ, (2)	136-143	7
Enrich Your Vocabulary	第3款:2ア(ア)／第4款:2(3)	144-149	-
Basic Sentences	第3款:2ウ(ア)イ(ウ)エ(イ)ウ(カ)キ(ウ), 3イ	150-163	-
Useful Phrases & Idioms	第3款:2ア(イ)	164-170	-
		計	117

教科書全体の英語	教科書で使用されている英文は全て、現代の標準的な英語を使用するように配慮した(第3款:3(ア))	全課	-
・新出語:670語 ・「コミュニケーション英語Ⅰ」までに学習した語:1,485語 ・連語及び慣用表現	第3款:2ア(ア)イ	本文ページ 傍注及び 脚注	-